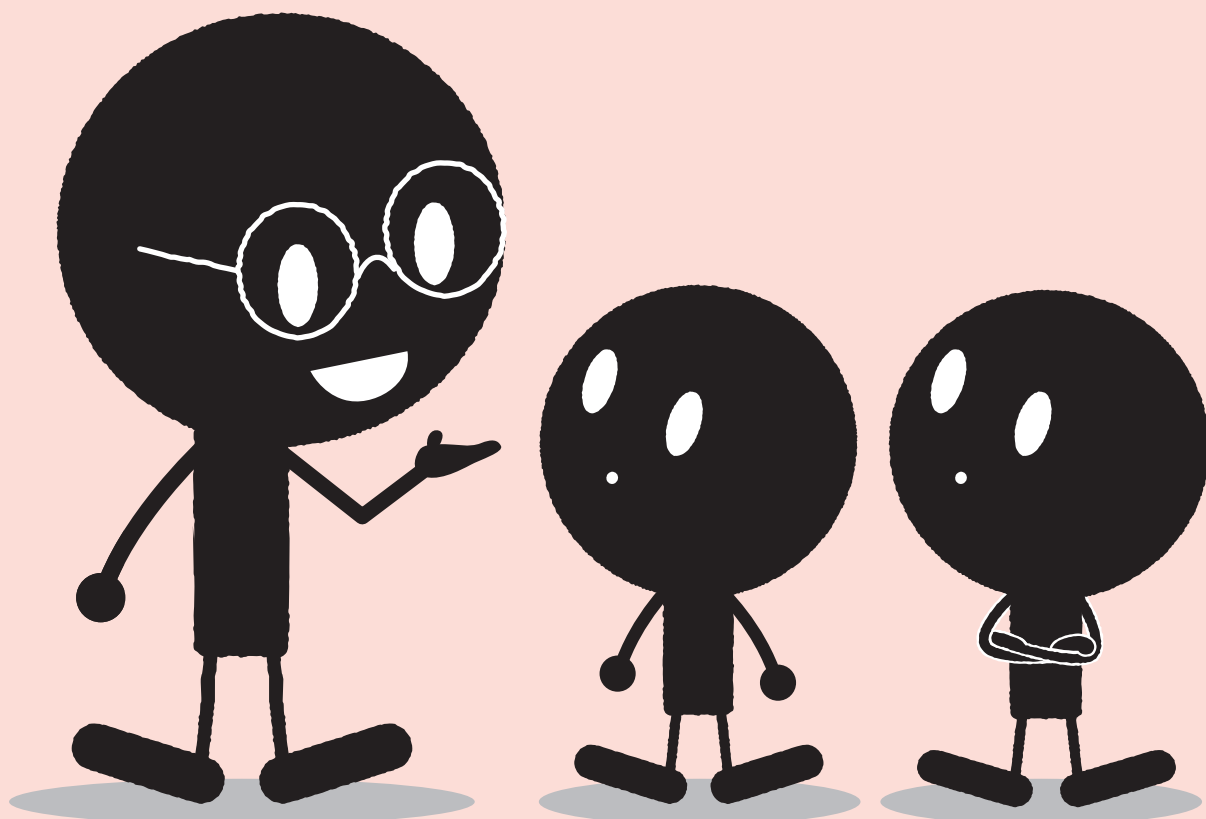


# 改めて、職業に関する 体験活動の意義を考える ①

～キャリア教育に関する総合的研究から～



## コロナ禍による職業に関する体験活動実施率の変化

以下の表は、中学校における職場体験活動と高等学校における就業体験活動の実施率の変化を表したものです。新型コロナウイルス感染症の影響により、子供たちの職業に関する体験活動の機会は大きく減少しました。

|                              | 令和元年                | 令和2年   | 令和3年                | 令和4年  |
|------------------------------|---------------------|--------|---------------------|-------|
| 公立中学校2年生における職場体験活動実施率        | 88.0% <sup>※1</sup> | (調査中止) | 28.5%               | 54.1% |
| 公立高等学校(全日制・定時制)における就業体験活動実施率 | 85.0%               | (調査中止) | 52.9% <sup>※2</sup> | 66.2% |

※1 令和元年度と令和3年度・4年度は調査方法等が異なるため、88.0%は参考値。

※2 令和3年度と令和元年度・4年度は調査方法等が異なるため、52.9%は参考値。

職場体験・インターンシップ実施状況等調査結果（令和元年度～4年度）を基に作成

## 体験的な学習活動はキャリア教育を推進する上で極めて重要な取組

子供たちが自らの将来を考えるためには、学校内における教育活動だけではなく、具体的に多様な年齢・立場の人や社会や職業に関わる様々な現場を通して、自己と社会の双方についての多様な気づきや発見を経験することが効果的です。体験的な学習活動は、キャリア教育を推進する上で極めて重要な取組の一つといえます。

子供たちが自らの将来を考えるためには…

自己に関する  
多様な気づきや発見

社会に関する  
多様な気づきや発見

学校における教育活動

+

多様な年齢・立場の人や社会や職業に関わる様々な現場における体験活動

## 改めて、職業に関する体験活動の意義を考える

国立教育政策研究所では、およそ7年に1度、公立の小学校・中学校・高等学校を対象に、キャリア教育に関する総合的な調査を行い、キャリア教育の現状と課題に焦点を当てて分析し、その成果を報告書として取りまとめています。令和元年に実施した調査の結果から、職業に関する体験活動の効果として考えられるものは以下のようなものです。今回は、小学校における職業に関する体験活動の意義について確認します。

### ●職業に関する体験活動の効果として考えられるもの

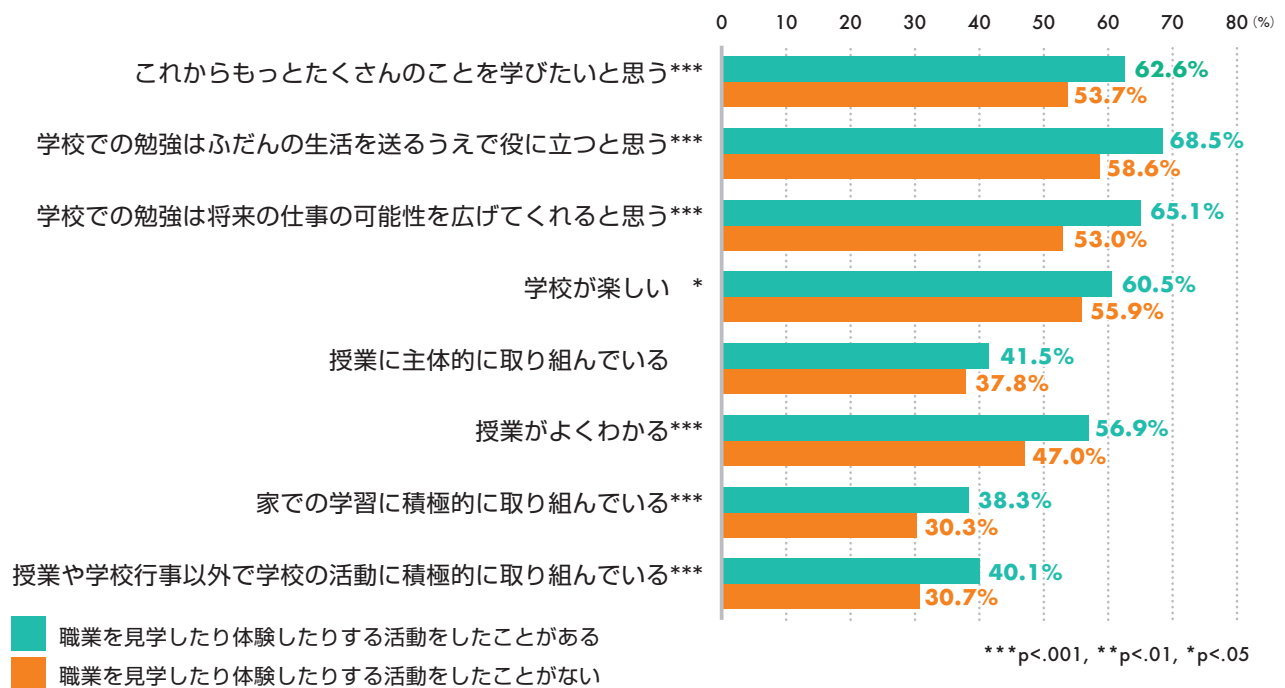
|      |                                                           |
|------|-----------------------------------------------------------|
| 小学校  | 職業に関する体験活動の実施は児童の学習意欲の向上に影響していると考えられる。                    |
| 中学校  | 充実した事前指導・事後指導を伴う職場体験活動は、生徒のキャリア発達を促す可能性がある。               |
| 高等学校 | 全体計画で「就業体験活動の充実や事前指導・事後指導」を重視した学校では、生徒の「キャリアプランニング能力」が高い。 |

キャリア教育に関する総合的研究第二次報告書（令和3年10月）を基に作成

## 小学校における職業に関する体験活動と学習に対する児童の意識の関係

以下のグラフは、職業の見学や職業に関する体験活動の実施の有無別に、学習に対する児童の意識を表したものです。見学や体験を行った児童の方が、学習に対する前向きな気持ちをもっていることが分かります。

### 「お店や工場、農家や漁師の仕事などの職業を見学したり体験したりする活動」の有無別にみた、学習に対する児童の意識



- ・グラフは、「当てはまる」「どちらかと言えば、当てはまる」「どちらかと言えば、当てはまらない」「当てはまらない」のうち、「当てはまる」と回答した児童の割合を、職業を見学したり体験したりする活動をしたことの有無別に表したものです。
- ・ $\chi^2$ 検定の結果、7項目で有意差が見られた。「これからもっとたくさんのことを学びたいと思う」( $\chi^2(1)=19.679$ ,  $p<.001$ )、「学校での勉強はふだんの生活を送るうえで役に立つと思う」( $\chi^2(1)=25.876$ ,  $p<.001$ )、「学校での勉強は将来の仕事の可能性を広げてくれると思う」( $\chi^2(1)=36.540$ ,  $p<.001$ )、「学校が楽しい」( $\chi^2(1)=5.299$ ,  $p<.05$ )、「授業がよくわかる」( $\chi^2(1)=23.761$ ,  $p<.001$ )、「家での学習に積極的に取り組んでいる」( $\chi^2(1)=16.516$ ,  $p<.001$ )、「授業や学校行事以外で学校の活動に積極的に取り組んでいる」( $\chi^2(1)=22.441$ ,  $p<.001$ )なお、本調査ではp値について0.05未満を統計的に有意とした。

キャリア教育に関する総合的研究第二次報告書（令和3年10月）を基に作成

## 小学校の職業に関する体験活動 実践事例

### 秋田県大館市立釈迦内小学校 釈迦内サンフラワープロジェクト

秋田県大館市立釈迦内小学校では、2010年から「ひまわりで創る地域の絆と笑顔」をテーマに、<sup>きずな</sup>「釈迦内サンフラワープロジェクト」を行っています。プロジェクトは、当時の4年生が、1/2成人式の記念として学校内にひまわりを植え、採れた種を絞ってひまわり油を作り、記念品としたことから始まりました。この取組を地域の方々が知り、地域全体に広げるためにできることは何かと考えたところから、「釈迦内まちづくり協議会」を母体とした「釈迦内SP」が誕生しました。この組織が主体となって、ひまわりを使った6次産業化、商品を販売した収益を子供たちの体験活動に生かす循環のシステムを構築しています。

このプロジェクトは、子供を中心にした地域活性化につながっています。同時に、企業の社会的貢献、地域経済への効果、生きがいや達成感、ふるさとキャリアなど、様々な効果もあり、そのどれもがキャリア教育で育成すべき資質・能力である「基礎的・汎用的能力」の育成に関わっています。

10年がたった今、自分たちへ還元するだけでなく、地元の大学に避難しているウクライナの学生を支援したり、ウクライナ大使館に支援金を送ったりするなど、活動の範囲を広げています。



本事例では、それぞれの活動で子供たちにどのような資質・能力を育むのかを明確にしています。そして、身に付いた資質・能力を次の活動で生かす経験を繰り返していくことで、子供たちは地域や社会をよくするために何かができるという自信を得ていきます。

子供たちは、自分たちは地域の方々から育ててもらっているのだから、地域に恩返しをしたり、元気にしたりしたいという意識をもっています。それが、地域や社会をよくするために何かをしたいという気持ちにつながっています。また、このプロジェクトを通して、自己や社会に関する多様な気付きや発見を経験することが、将来の夢や目標をもつこと、自分のよさを認識すること、人の役に立つ人間になることなどの意識、そして、学習に対する意欲の向上につながっています。

#### 令和5年度 全国学力・学習状況調査

地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか

|        | 当てはまる | どちらかといえば、当てはまる | どちらかといえば、当てはまらない | 当てはまらない |
|--------|-------|----------------|------------------|---------|
| 本校     | 58.8  | 38.2           | 2.9              | 0       |
| 秋田県    | 47.7  | 39.7           | 10.0             | 2.6     |
| 全国     | 33.2  | 42.2           | 17.1             | 5.9     |
| 全国との比較 | +15.6 |                |                  |         |

秋田県と全国より10ポイント以上、上回っている。

#### 将来の夢や目標を持っていますか

|        | 当てはまる | どちらかといえば、当てはまる | どちらかといえば、当てはまらない | 当てはまらない |
|--------|-------|----------------|------------------|---------|
| 本校     | 73.5  | 20.6           | 5.9              | 0       |
| 秋田県    | 67.4  | 20.4           | 7.9              | 4.4     |
| 全国     | 60.8  | 20.7           | 10.4             | 8.2     |
| 全国との比較 | +12.7 |                |                  |         |

「自分にはよいところがありますか」「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」についても10ポイント以上、全国を上回っている。